

改善計画書(兼改善状況確認書)

優先順位	改善項目		改善目標	改善に向けた計画内容	期間	評価(2008年5月1日現在)
	自己	外部				
1	81	29	居心地のよい共用空間をつくる	利用者にとって心地よい環境とは何か? から話し合う。	5月中	
2	66	26	自由な暮らしの実践	安全な生活と自由な暮らしの実現に向けての助言・協力が得られるように運営推進会議で話し合う。	5月開催	
3	20	11	地域へのネットワーク配信源となることで、地域へ貢献したい	運営者は認知症キャラバンメイトとして認知症の普及に努めている。グループホームさくらとしても積極的にバックアップして参加型ではなく、参加してもらえるように取り組んでいく。	年間を通して	
実施済み	7	4	質の向上を図る	日々の暮らしぶり、バイタル、食事量、排泄の記録を簡潔に毎日記録し1ヶ月単位で送付する。	月1回	職員の意識、向上心につながった。
実施済み	50	20	プライバシーの確保を徹底する	入居者の生活歴の把握徹底、プライバシーの確保等を会議の中で話し合い意識付けをする。又、研修等の参加を促し質の向上につなげる。	月1回 随時	
実施済み	54	22	楽しみながら食事ができる	テーブルコーディネートや盛り付け等を工夫し、楽しむ食事ができるようにする。	その都度	
実施済み	71	27	災害時の安全を確保する	地域の方の協力を得る。	随時	快く引き受けてくださったが、近隣に住居がないため早急なる応援は多少困難であり、今後更なる対応策を検討する。
実施済み	77	28	バランスのよい食事ができる	栄養士等に指導、助言を受ける。	月1回	栄養摂取基準量的には問題ないが、個々の病態に応じた栄養管理ができるよう努力したい。
実施済み	83	30	居心地のよい居室空間をつくる	心和むなつかしい品を居室に置く。しかし、居室はあくまでプライベート空間であるという認識のもと、利用者・ご家族の意見を最大限に尊重すること。		